



vol.52

◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌

# はなみずき

発行 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部  
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11  
医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院  
TEL: 04(2949)3385 FAX: 04(2949)7872  
ホームページアドレス <http://www.tokorozawa-loyal.jp>



平成30年10月1日発行

〈病院理念〉私たちは安全で良質な医療、心のもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

## ● 所沢ロイヤル病院の行事食 ●

●お正月：おせちの盛り合わせと松茸ご飯



●3月：海鮮ちらし寿司



●5月：オムライス



●7月：うな重



●10月：3種のおむすび



●11月：峠の釜飯風とお刺身



●病棟行事食：中華バイキング



●病棟行事食：穴子の押し寿司



●病棟行事食：穴子ちらし



秋といえば、美味しい食材がつぎつぎと旬を迎える季節なのでついつい食欲が増します。「食欲の秋」とよく言いますが、日本独自のフーズなのだそうです。四季が豊かに美しく移り変わる日本だからこそ定着した言葉のようです。

そこで今回は所沢ロイヤル病院の「行事食」をご紹介します。入院中も四季折々の味覚と視覚を楽しむメニューを工夫して提供をしています。

行事食の他にも病棟毎の「病棟行事食」も提供をしています。そちらでは病棟から「〇〇が食べた〜い」というリクエストにお応えしています。デザートもまた本当に美味しくそうです!!

さて次は何をリクエストしましょうか?



# 所沢ロイヤル病院にて「通所リハビリテーション」を開設

この度、平成30年8月1日より所沢ロイヤル病院にて「通所リハビリテーション」を開設させていただきました。今回の通所リハビリは「送迎付き」「1時間のリハビリ」を基に2つのコースを設けました。院内通所リハビリと聞いても想像ができない部分があるかとは思いますが紹介を兼ねてご説明をさせていただきます。

現在当院からも在宅復帰される患者様の割合が多くなりました。この方の中には帰ったものの「家事が思うように出来ない」「外を歩いたら不安」など課題を残したまま退院となった患者さまもいらっしゃいます。この方々を中心とし、介護保険下で「個別リハ」を1時間送迎付きで対応するサービスとなります。**(Aコース：短期集中リハビリコース)**

また、生活に問題が無くとも「最近疲れやすくなった」「運動する機会が欲しい」と希望される方には自主トレ指導と管理を中心としたリハビリの提供を行います。**(Bコース：コンディショニングコース)**

両コースとも当院の医師、リハビリテーションスタッフの運動管理のもと実施し、必要のある利用者様には「言語聴覚士」による発声・嚥下練習や、「管理栄養士」による栄養管理指導を選択実施することが出来ます。

今までの外来リハビリや訪問リハビリ、デイケア等のリハビリ機会の一つとして地域の方の健康な生活を守る為の選択肢としてお手伝い出来るように頑張りたいと思います。

詳しい説明や利用相談等「所沢ロイヤル病院通所リハビリ」についてのお問い合わせはリハビリテーション科/作業療法士・後藤までご連絡ください。  
(文/リハビリテーション科・後藤)



## 通所サービスの概要

### ●ご利用申し込み手順



### ●当院では2つのプランをご用意しました



### ●ご利用時間 ※サービス提供は下記時間のうち1時間

AM 9:30~11:30	月	火	水	木	金	土	日	祝
PM 13:30~16:30	●	●	●	●	●			

(土日・祝祭日・年始年末はお休みとなります)

お問い合わせ TEL 04-2949-3385 (代表)  
FAX 04-2949-7872  
[月曜~金曜 午前9:00~午後5:30まで]

## ● 所沢ロイヤル病院の災害時等体制について …………… (文/総務課・澤田)

地震などの大規模災害が発生した際、医療活動の中心となるのが被災地域の医療機関です。

当院は、限られた医療資源のなかで効率的になるべく早く復旧させ、医療活動を継続するために「事業継続計画(BCP: business continuity plan)」を立てています。

例えば、重要となるライフラインである東京電力による通電が断たれた場合でも、当院はコ・ジェネレーションシステムを設置しているので、都市ガスによる自家発電が可能です。水道も供給可能です。しかし、電気・ガス・水の供給が断たれた場合は、貯留している約56tの水は供給できません。食糧のストックは、厨房で1日(3食分)と非常食3日分を用意しております。

また、建物設備に関しては、各メーカーや専門業者と業務提携し速やかな修理復旧が出来る体制を整えております。

上記の内容をはじめ、様々な状況を想定し入院中の患者様は勿論、地域の皆様にも対応できるように準備しております。



## ● 所沢ロイヤル病院にもやってきた! …………… (文/総務課・澤田)

近年の異常気象によるものか、当院の敷地にも大きなスズメバチの巣が出来ていると報告を受け現場に急行するとバスケットボールより大きな立派な巣が出来ており、素人による駆除は危険なので、専門業者に駆除をお願いしました。さすが、プロは装備が違います。テレビで見ると出で立ちで、殺虫剤をブシューと撒いて、サツサツと巣をビニールに入れて撤収です。所要時間10分位だったのでしょうか? 馴れた手付きで次の現場へ向かいました。スズメバチの活動時期は、5月から11月なので蜂を見かけたら近くに巣があるかもしれませんので、気をつけましょう!



専門業者の駆除作業

## 所沢ロイヤル病院テラスのご紹介

緑のカーテン

2階リハビリ室と繋がっている「テラス」。ここでは季節に合わせた花や野菜などをリハビリスタッフと患者様が協力しながら育てています。気分転換にテラスを散策する患者様も多く、畑仕事の経験がある方から、たくさんのアドバイス、協力をいただいています。

季節ごとに収穫、種植えなどのイベントを開催しており、園芸の楽しさを感じていただき、日々のリハビリへの活力となっています。先日は、患者様とリハビリスタッフにて「じゃがいも掘りの会」を行いました。畑とは違い、プランターで育てているため、実っているか心配でしたが、患者様も笑顔になる程の大豊作でした。

これからも季節を感じられる花や野菜などを患者様と協力しながら育てていきたいと思っております。

(文/リハビリテーション科・松本、中島)



「じゃがいも掘り」収穫風景



野菜や花を育てています

# みるみる！ろいやるん♪

## 10月31日はハロウィンです!!

元々は日本人にとって馴染みのなかったハロウィンですが、90年代後半に東京ディズニーランドがハロウィンイベントを開催するようになってから広まっていき、ここ数年はSNSの普及によって、クリスマスに並ぶ一大イベントとして盛り上がりを見せるようになりました。

### (ハロウィンの起源)

ハロウィンの起源は古代ケルト人です。古代ケルト人の一年の終わりは10月31日で、秋の収穫を祝いながら迎える年越しの夜には、この世とあの世を隔てる扉が開いてご先祖さまが訪ねて来ると信じられていました。「大晦日」「正月」「収穫祭」「お盆」がいつべんにやってくるようなイメージです。あの世から来るのは先祖の霊だけでなく、悪霊や魔女などの悪い霊も出てきて、人間の魂を奪うと信じられていたため、人々はお化けの仮面を被って人間だと気付かれないようにしました。

現代では、ハロウィンの歴史的・宗教的な意味合いは薄れ、各国独自のイベントが行われています。日本では、仮装した若者が街に繰り出してお祭り騒ぎをされるといった、残念なイメージが定着しつつあります。欧米では仮装した子供たちが地域の人と交流して、夜は家族と過ごすことが多いようです。

今年のハロウィンは、古代ケルト人に思いを馳せながら、家族や大切な人とゆったりと過ごしてみたいかがでしょうか？(^^)/

(文/看護師・小野)



## お知らせ



### クリスマス会



12月中旬頃

今年のクリスマス会も可愛いサンタやトナカイが各病棟にプレゼントを届けに行きます。日程が決まり次第、お知らせをしますのでお楽しみに♪

### 感染対策強化月間

11月～3月末

毎年11月から3月末までを当院では感染対策強化月間としています。インフルエンザをはじめとする様々な感染症が猛威を振るう時期を乗り切るため、ご来院の際は手指消毒とマスクの持参着用のご協力をお願い致します。

### ハロウィンイベント



10月10日(水) 14時～ 1F 玄関ロビー

やまゆり保育園の子ども達といちご保育室の子ども達がそれぞれハロウィンの仮装をしたステージがあります。どんなステージになるかは楽しみです。可愛い子ども達にお菓子を渡してくださいね。トリックオアトリート!《お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ》

### 健康講座



11月15日(木) 14時～ 3F 第一会議室

毎回好評の埼玉石心会病院後援の健康講座です。地域の皆様へ医療に関する様々な情報からピックアップして分かりやすくお伝えをしています。講座の内容は院内ポスターでお知らせ致します。小手指駅から病院バスの送迎もありますので是非ご参加ください。

※上記内容は諸事情に因り予告無く変更となる場合があります。判り次第、院内ポスター掲示及び当院ホームページ上でお知らせ致しますのでご理解ご了承ください。

## 編集後記

今、大人に「絵本」がいい!と、言われていることを皆さんは、知っていますか? なぜなら、絵本には、豊かな表現力と想像の世界が繰り広げられ、素敵な言葉で心を満たし、響く……。人は言葉を話します。言葉はとても大事です。そして、たくさんの絵本を読むことで、情緒に関わるような言葉を知り、自分を客観的にみられたり、抽象的で難しいことも考えることができるのだと言います。そこで、今回も、2冊の絵本を紹介します。

★チロヌツプのきつね 《作: たかはしひろゆき》

★Dustbin Baby (ダストビン・ベイビー) 《作: ジャクリーン・ウィルソン》です。 (文/看護師・古澤)

